

委員からの意見に対する対応について

■平成 26 年度第 1 回 (H26. 4. 22)

意見	意見に対する市の考え方	対応ページ
(宮本委員) ・学童保育の時間延長(19時くらいまで)について (「小1の壁」の問題に関するもの)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I-5-(2) 「放課後児童対策については、加えて保育所との開設時間の違い等による、いわゆる「小1の壁」への対応とともに、障害児等の配慮を要する児童への対応が必要となっています」に包含</li> <li>・ III-3-(2)-⑩ 「小1の壁」問題が示すように、就学前児童の待機児童問題とともに、就学児の放課後の居場所問題は深刻となっているため、開所時間の延長を検討します。</li> </ul>	<p>35</p> <p>61</p>
(村田委員) ・小児医療体制及び病児への小児科医等の対応について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ III-5-(2) 「安心して医療が受けられるよう、関係機関と連携し、小児医療体制の充実を図る」に包含</li> </ul>	<p>63</p>
(田村委員) ・学童保育における個別な配慮を要する子どものための職員採用等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I-5-(2) 「障害児等の配慮を要する子どもに対応するための人材確保、育成も課題になっている。」に包含</li> <li>・ III-3-(2)-⑩ 「配慮を要する児童の入級の対応や指導員の確保を図ります。」に包含</li> </ul>	<p>35</p> <p>61</p>
(山崎委員) ・一時預かり等保育サービスに対する情報提供の充実 (保健センターでのパンフレット等の有効活用等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I-5-(2) 「一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな相談体制や情報提供体制の整備が求められています。」に包含</li> <li>・ III-4-(1) 「情報提供については、既存のパンフレット等の有効活用のほか」に包含</li> </ul>	<p>35</p> <p>62</p>
(松永委員) ・小さな子どもでも安心して遊べる、または大きな子どもが思いっきり遊べる場所(公園等)の整備について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I-5-(6) 「また、安全な子どもの遊び場を求める声も多く、」に包含</li> <li>・ III-9-(2) 「公園や広場の計画的な整備と適切な管理を行い、有効な活用ができるように努めます。」に包含</li> </ul>	<p>37</p> <p>67</p>
(原田委員) ・地域での見守りについての地域格差について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ III-6-(2) 「家庭や地域の教育力の向上」及びIII-9-(1) 「子どもの安全の確保」</li> </ul>	<p>64、67</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを預けて安心・安全が確保できる人材の確保等について</li>   <li>・休耕田等を活用した遊び場の確保について</li>   <li>(池永委員)</li> <li>・通学路等での交通事故からの安全確保について</li>   <li>(林委員)</li> <li>・社会福祉協議会での三世代交流事業の拡充について</li> <li>・民生委員、児童委員の協力のもとでの地域での子育て支援の充実について</li> <li>・ファミリーサポート・ベビーシッターなどの計画の中での位置づけについて</li>   <li>(岡永委員)</li> <li>・児童養護における小規模化、家庭的養護の拡充の方向と児童養護施設に対する理解促進について</li> </ul>	<p>の実行を通して、地域格差の解消に努めたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Ⅲ-2-(3)「個々の幼児・児童の状況に対応した人材の確保など、支援のあり方を検討します」に包含</li> <li>・Ⅲ-3-(2)-⑪「放課後や長期休業期間における安全かつ安心な居場所づくりを推進するため、計画的に施設整備を行うとともに指導員の人材確保、育成に努めます</li> <li>・Ⅲ-9-(2)「公園や広場の計画的な整備と適切な管理を行い、有効な活用ができるように努めます。」に包含</li>   <li>・Ⅲ-9-(1)「子どもの安全の確保」に包含</li>   <li>・Ⅲ-6-(2)「家庭や地域の教育力の向上」に包含</li> <li>・同上</li>   <li>・Ⅰ-5-(2)「ファミリーサポートセンターは、地域の住所相互の援助活動であり、市民活動推進の観点からもその活動を促進していく必要があります。」に包含</li> <li>・Ⅰ-5-(1)「新たに市町村の認可事業として行われる「地域型保育事業」についても利用希望があり、ニーズに沿った多様な教育・保育の提供体制の整備が求められています。」に包含</li> <li>・Ⅲ-3-(2)-⑦「⑦子育て援助活動（ファミリー・サポート・センター事業）」に包含</li>   <li>・Ⅲ-8-(4)「社会的養護の促進」に包含</li> </ul>	<p>49</p> <p>61</p> <p>67</p> <p>67</p> <p>64</p> <p>35</p> <p>35</p> <p>60</p> <p>67</p>
---	---	---

■平成 26 年度第 2 回 (H26. 5. 20)

意見	意見に対する市の考え方	対応ページ
<ul style="list-style-type: none"> <li>(岡永委員)</li> <li>・児童養護における小規模化、家庭的養護の拡充の方向と児童養護施設に対する理解促進(里親制度等)について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Ⅰ-5-(5)「児童養護施設は、地域における家庭的な養護への転換が図られており、里親制度の啓発活動など、児童養護の取り組みを支援する必要があります」に包含</li> <li>・Ⅲ-8-(4)「社会的養護の促進」に包含</li> </ul>	<p>36</p> <p>67</p>

<p>(村田委員) ・病後児保育の充実について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I-5-(4)「病児・病後児保育事業とともに…」に包括</li> <li>・ III-3-(2)-⑩「今後の利用状況を注視し、病児・病後児保育施設の増設を検討します」に包括</li> </ul>	<p>36 61</p>
<p>(福田委員)メールでの意見 ・プレママに対する情報提供の充実について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I-5-(2)「一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな相談体制や情報提供体制の整備が求められています。」に包括</li> <li>・ III-4-(1)「既存のパンフレット等の有効活用のほか…」に包括</li> </ul>	<p>35 62</p>
<p>(島田委員) ・子どもが5人以上などの多子世帯への経済的支援等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ III-4-(2)「経済的な支援の拡充」に包括（計画上は同時入所までの支援）</li> </ul>	<p>62</p>
<p>(潮見委員) ・産婦人科等でのスマートフォンを活用した情報入手手段について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I-5-(2)「スマートフォン等携帯端末…」に包括</li> <li>・ III-4-(1)「…スマートフォン等携帯端末を活用するなど…」に包括</li> </ul>	<p>35 62</p>
<p>(宮本委員) ・1年間の育児休業の取得期間の延長について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I-5-(4)「育児休業の取得状況は…」に包括</li> <li>・ III-7「仕事と生活の調和を実現させる環境づくり」に包括</li> </ul>	<p>36 65</p>
<p>(今川委員) ・食物アレルギーをもつ児童への給食に対する食材及び専門的な人材確保への公的支援について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I-5-(1)「幼児・児童の体質等にあった…」に包括</li> <li>・ III-2-(3)「また、個々の幼児・児童に対応した…」に包括</li> </ul>	<p>35 49</p>
<p>(広石委員) ・病児・病後児対策の拡充について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ III-3-(2)-⑩病児・病後児保育事業に包括</li> </ul>	<p>61</p>
<p>(田村委員) ・地域の力を活用した開かれた学校づくりについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ III-6-(1)「コミュニティスクールの充実を図り、保護者・地域が学校運営に参画し地域に開かれた学校づくりを推進します」に包括</li> <li>・ III-6-(2)「家庭や地域の教育力の向上」に包括</li> </ul>	<p>64 64</p>
<p>(湯面委員) ・多子世帯への経済的支援について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ III-4-(2)「経済的な支援の拡充」に包括（計画上は同時入所までの支援）</li> </ul>	<p>62</p>

(東福委員) ・病児・病後児保育の保護者が利用しやすい細やかな環境づくりについて	・Ⅲ-3-(2)-⑩病児・病後児保育事業に包含	61
(山崎委員) ・不妊治療に対する経済的支援について	・Ⅲ-5-(1)「子どもがほしいと願う..不妊治療費、…」に包含	63
(松永委員) ・保育園や幼稚園、小学校への市役所等からの出張相談について	・Ⅰ-5-(2)「一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな相談体制や情報提供体制の整備が求められています。」に包含 ・Ⅲ-4-(1)「また、通っている幼稚園…」に包含	35 62
(脇委員) ・子育てが楽しいということを訴えることについて	・Ⅱ-1-基本理念「子どもの笑顔は・・・」に包含 ・Ⅱ-2-基本目標1「家庭の力で子どもを育む」に包含	39 40
(林委員) ・発達障害児への対応、支援策の充実について	・Ⅰ-5-(5)「...発達障害児への対応も含め…」に包含 ・Ⅲ-8-(3)「自閉症、学習障害(LD)、…」に包含	36 67

### ■平成 26 年度第 3 回 (H26. 6. 23)

意見	意見に対する市の考え方	対応ページ
(田村委員) ・各種子育て支援策の関心の低い家庭等の啓発等について	・Ⅰ-5-(2)「一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな相談体制や情報提供体制の整備が求められています。」に包含 ・Ⅲ-4-(1)「既存のパンフレット等の有効活用のほか…」に包含	35 62
(十楽委員) ・子育て支援に対する民生委員・児童委員の活動についての PR について	・Ⅲ-6-(2)「家庭や地域の教育力の向上」に包含	64
(今川委員) ・障害児保育への防府市としての対応について ・市内で安心して出産できる環境については、事業として計画に掲載することについて	・Ⅲ-8-(3)「障害児施策の充実」に包含 ・Ⅲ-5-(1)「安心して妊娠、出産できる環境の確保」に包含	66 63

<p>(島田委員) ・夜間小児診療について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Ⅲ-5-(2)「安心して医療が受けられるよう、関係機関と連携し小児科医療体制の充実を図るとともに…」に包含</li> </ul>	63
-------------------------------	--	----

■平成 26 年度第 4 回 (H26. 8. 5)

意見	意見に対する市の考え方	対応ページ
<p>(脇委員) ・幼稚園における食育の推進の取り組みについての記載について</p> <p>(岡永委員) ・国は里親をどんどん広げようとしているという傾向にあるため、ただ啓発して行くにとどめず、啓発、拡充と拡げていく文言を入れることはできないか。 ・里親の開拓について、今までよりも里親をどんどん増やしていくということで、新しく里親を開拓するというので、里親の前に新規という言葉を入れていただきたい。新規に里親を増やすということが、国の方の方針になっている)</p> <p>(原田委員) ・認定こども園についての説明が必要ではないか ・全体を通して、文字ばかりでなく図式化するなどにより見易さや分かり易さへの配慮が必要では</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Ⅲ-6-(5)「食育の推進は、保育所・幼稚園・学校等の様々なところで知識の普及や体験学習などの取り組みが行われていますので・・・」に包含</li> <li>・Ⅰ-5-(5)「里親制度の啓発や拡充等児童養護の取り組みを支援する必要があります」に修正</li> <li>・Ⅲ-8-(4)「里親の新規開拓や里親支援」に修正</li> <li>・説明文の追加を検討します。</li> <li>・引き続き、図式化等を検討します。</li> </ul>	<p>65</p> <p>36</p> <p>67</p>